



薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は昨年で創立40周年を迎え、5,000名を超える会員が全国各地で活躍しております。全国17支部(道内7、道外10)で活動を行い、医療薬学セミナーと同時に支部総会や懇親会を開催し、その地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところです。会員数の増加により、道内支部の細分化と道外の卒業生が減少していることから本州支部の統合やプロウ化も含めて現在検討しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、各セミナーや創立40周年記念式典など、様々な行事やイベントが中止や延期となり、各支部での活動も縮小して行っている状況です。しかし、コロナ禍の中でもWEBを利用したりリモート研修等を薬剤師研修センター

〈創立年:1979年 会員数:約6,066名〉

の協力で、徐々に開催することができております。

コロナ禍以前は、卒業生の生涯教育として、医療薬学セミナーや将来ビジョン講座など卒業研修を企画するとともに「卒業生・在学生合同懇談会」を開催しており、我々同窓会としても、入学時から学生に対しての支援活動を通して大学に寄与できるよう努力してまいりましたが、在学生も同窓会準会員としておりますので、在学生に対しての更なる支援を今後も検討しております。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~phalumni/>
- yaku-dousoukai@hoku-iryu-u.ac.jp



歯学部
同窓会長
袁 隆宏

歯学部

歯学部同窓会は会員の共済、親睦、学術の向上、大学への貢献を目的し設立38年を迎えました。これと並んで皆様の深いご理解と多大なるご協力のお陰と感謝申し上げます。

本会は、学生皆様が目標を達成するための応援を色々な形でしております。新入生オリエンテーションへの参加、OBによる講義、海外短期研修の補助、学外臨床実習への協力、卒業試験、国家試験の支援などその内容は多岐にわたります。しかし、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの事業はもちろん大学での講義すらままならない状況に追い込まれました。そこで、我々は「コロナで夢を諦めさせない!」をスローガンに「コロナ対策学生応援プロジェクト募金活動」を行いました。会員の皆様から寄せられた多額の浄財は困窮する後輩たちを救うべく、返済不要の給付型緊急コロナ特別奨学金として活用されることが決まり、先輩たちの愛と想いが形になって学生たちの手に渡ることは本当に嬉しく感無量です。

また、このたびは「健康が全てではないが、健康を失うと全てを失う」という言葉を実感

〈創立年:1984年 会員数:約3,312名〉

しました。この感染症は身体の健康を奪うだけでなく、感染者への誹謗中傷や、もしかしたら自分もという不安から心の健康を奪い、最悪の状況に至ることもある恐ろしいものです。我々医療人と医療人を目指す学生の皆様は、自分を守り、大切な人を守り、そして社会を守る矜持を持った行動をとることが求められていると思います。

母なる学舎、母校で学ぶ後輩たちが、深い優しさに包まれながら夢に向かって学び、それぞれの立場で社会に貢献するという目的を達成するために、我々歯学部同窓会は母の如く皆様を応援し続けます。

- <http://www.hoku-iryu-u.com/>
- dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
- 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

福祉会(看護学科同窓会)は1997年に創立し、今年で活動25年目となりました。日頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様にご協力をお願いして深く御礼申し上げます。

さて、今年度の同窓会活動は、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の影響により十分にできない状況が続いております。振り返れば、各種研修会をはじめ取り組みを検討するための役員会も開催を見送らざるを得ませんでした。その背景には我々の本業である看護を取り巻く環境の激変に日々追われてきたことに尽きます。例えるならば目隠しをしたまま綱渡りしているような状況で、先行きが読めず、常に緊張感の張りつめた毎日が続いています。ここまでの危機感を持ちながら過ごしてきた1年は未だかつて経験がありません。

このような状況下、今年度、同窓会として初めて取り組むことができたのはホームページをとおして広く同窓生に学生支援を募る活動です。私たちに新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けることとなった大学生への支援については、緊急事態宣言の発出頃より度々大きく報道され、国においても緊急対応措置として給付金の支給をはじめとした学生支援が打ち出されました。本校においても独自の取り組みがなされているところでありますが、今回、歯学部同窓会長の呼びかけかけ「コロナ対策学生応援プロジェクト」として全学部の同窓会で連携した取り組みに発展いたしました。このことで同窓生から本学の在学

〈創立年:1997年 会員数:約2,500名〉

生への支援の道筋を付けることができました。皆様におかれなくても、極めて厳しい状況下で日々お過ごしであること存じますが、これからの保健・医療・福祉を支えていく私たちの後輩の教育環境を側面的に支えるため、趣旨に御賛同いただける方についてはどうぞ御協力をよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症については、徐々に治療薬の開発が進み、ワクチン接種についても全世界的に開始され始めたところです。まだ先行きが見とおせるほど明るく照らし出されていないにしても、1年前の今日と比べてみれば、世の中の変化とそれに伴う私たちの行動の変化、成長を実感できるのではないのでしょうか。今後も福祉会としては、同窓生や在学生との繋がりが、ともに育ちあえる機会や関係性を構築してける環境の醸成を目指し、大学や他学部同窓会と連携を図りつつ、活動してまいりたいと考えています。同窓生が安心して語り合える機会が増えることで、看護職として、また、本学の同窓生としての繋がりを再認識できることが本会の発展に繋がると考えております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。1年後、各々が様々な荒波を乗り越えたその先で、また元氣にお会いしましょう。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~kango/>
- kango@hoku-iryu-u.ac.jp



看護福祉学部
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部／臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

医療従事者の皆様、そして介護・福祉の現場の最前線で業務に従事している皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、2020年は新型コロナウイルス感染症により計画していた活動がほぼ中止となりました。しかし、総会については、十分な感染防止対策をとりサテライトキャンパスで開催致しました。講演会などの企画はせず、短時間の設定ではありましたが、第1期生から第24期生(2020年3月卒業)まで集まりました。(密になるような人数ではありませんが…)特に昨春の卒業生は式典もなく卒業し、仲間たちと再会する機会を切望していることがひしひしと伝わりました。同窓会としても何らかのかたちでバックアップしていきたいと感じました。

2019年から同窓会で後援している「病院ではたらく相談のしごと体験講座」は、10月に計画していましたが、残念ながらコロナ情勢で中止となりました。患者さん、家族の幸せづく

〈創立年:2000年 会員数:約2,100名〉

りを目指し、ゆらぎを支え、お金、家族、仕事などの暮らしと一緒に創っていく医療ソーシャルワーカーの仕事に触れるよい企画ですので、次年度はオンライン講座も模索しつつ開催ができればと願うところです。

医療大の特徴であるチーム医療というところでは、他の同窓会と企画している「コラボ☆講演会」のZOOM会議に参加しています。今後はネット環境を活用した取り組みも取り入れ、新たな同窓会活動を模索し構築していかなければならないと感じています。皆様、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

- <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~fukudo/>
- fukudo@hoku-iryu-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会長
上河 遼

心理科学部／臨床心理学科

平素より同窓会活動への格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度は、感染症の世界的な流行に伴い、会員の皆様方ならびにご家族の皆様方も多大な影響を被られたこと、心よりお見舞い申し上げます。

感染症の影響は、本年度の臨床心理学科同窓会の活動にも大きな変化をもたらしました。例年のような対面での同窓会セミナーの開催は困難となり、当初予定していたいくつかの新しい取り組みも軌道修正を余儀なくされました。結果として本年度は、来年度以降、会員の皆様方に確実にサービスを提供するための準備を整える1年となりました。その一環として、インターネットを介した同窓会サービスの提供やSNSの活用などを視野に入れ、同窓会員の皆様方に大規模なアンケートを行わせていただきました。その結果、インターネットやSNSを活用したサービスの提供に、8割以上の皆様方から賛成とご回答をいた

〈創立年:2006年 会員数:約537名〉

だいています。また、会員の皆様の方々が、TwitterやLINEでの情報収集を行っているという実情も明らかになりました。一方、従来の郵送、掲示形式での情報発信だと、およそ半数の方が同窓会の活動について「知らない」という現実も明らかになりました。よって、来年度以降は、SNSやWEB会議システムを活用した情報発信とサービスの提供に注力して参りたいと考えています。こうした変更に伴って、道外の会員の皆様にも同窓会セミナーへご参加いただくことができるようになり、オンラインでの進路、就職相談などの実施が可能になったりする見込みです。

これからも、同窓会へ変わらぬご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

- <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~p.dousou/>
- shinri-dousoukai@hotmail.co.jp



理学療法学科
同窓会長
武田 智洋

リハビリテーション科学部／理学療法学科

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力をくださり、誠にありがとうございます。日頃からご尽力をいただいている同窓生をはじめ、他学部同窓会の皆様、本学関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。

本学に理学療法学科が開設されてから8年が経ち、今年は5期生が社会人デビューを果たしました。今年もまた「北海道医療大学」から「理学療法士」が誕生したことを大変嬉しく思っております。これまでの卒業生は北海道内のみならず、全国各地の医療機関や福祉施設等で活躍しています。5期生の皆様、初めての仕事で慣れないことや多くの悩みが生じることがあるかと思いますが、そのような時は身近にいる卒業生に声をかけ、些細なことでも相談してみてください。きっと後輩である皆様のことを優しく支援し、心強い存在となっ

〈創立年:2017年 会員数:約250名〉

てくれるはずですよ。同窓会としても卒業生のサポート体制をさらに充実させていきたいと考えています。卒業教育の一環として、当学科教授を招いてのセミナー開催を企画しています。知識・経験が豊富な先生による講演や、学生時代を知る先生にだからこそできる相談など、「明日につながる」内容を求め、実践していきたいと思っております。

引き続き後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の先生方に御指導をいただきながら、本学の発展、同窓生のさらなる活躍の一助となるべく活動してまいりたいと思っております。

- <http://iryoudaipt.web.fc2.com/>
- iryoudaipt@gmail.com



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション科学部／作業療法学科

(創立年:2017年 会員数:約140名)

作業療法学科同窓会は、開設より5年目を迎えます。設立初年度より顧問である作業療法学科近藤里美教授、あいの里ST会石黒会長をはじめ役員の皆様には多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在は約140名の同窓会員で活動しており、今後も毎年30-40名とまだまだ少ない会員数の期間が続きます。少人数という特徴を活かして密に連携をとりながら、当同窓会が同窓生、在学教員、在学生の繋がる場としてあり続け、発展していくことを願っております。今年度はCOVID-19の流行により同窓会活動も大きく制限されることになりました。昨年3月に予定しておりました、同窓会セミナーも中止をせざるを得ない状況となり頃からご支援をいただいております同窓生の皆様へ還元することができず非常に残念に思っております。毎月開催しておりました役員会も感染対策の観点から初めてのリモート会議を試みま

した。実際に使用してみると、費用の削減、時間的な参加のしやすさからメリットも多く感じることができ、今後の同窓会運営の一助となりました。どうかこの状況をいち早く打開すべく、医療人として日々新しい情報を取り入れ行動していくことが非常に重要であると改めて考えさせられました。

来年度はCOVID-19の状況を吟味し、同窓生の皆様へ還元できるよう同窓会セミナー等の開催も検討してまいります。

最後に北海道医療大学後援会の皆様、各同窓会役員の皆様のご理解、ご協力の下に当会の運営が成り立っていますことに深く御礼申し上げます。

■ <https://www.ot40-jp.webnode.jp/>
■ hokuiryodai.ot@gmail.com



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部／言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

(創立年:1994年 会員数:約1,950名)

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立されました。講演会の企画・運営と年に2回の会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を中心に活動してまいりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、感染拡大防止のため6月に予定していた総会と言語聴覚療法学科同窓会セミナーの開催、および後期会報の発行をやむを得ず中止いたしました。

同窓会としてできることとして歯学部同窓会委員長よりご提案いただいた「コロナ対策学生応援プロジェクト募金」について会員の皆様へお知らせし、コロナ禍で経済的に厳しい状況にある学生さんを支援できるよう協力をお願いしております。

また、他学部同窓会と合同で開催予定の2021年3月6日(土)第14弾「コラボ☆講演会」に向け担当役員で準備を進めております。WEB会議システム「Zoom」を利用したオンライン形式での開催となります。ぜひ多くの皆様にご参加いただきたいと思います。

最後に、この場をお借りし北海道医療大学後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力を賜り運営を行っておりますことに、深く御礼申し上げます。

今後も感染症の状況に対応しながら同窓会活動を通じて皆様のお役に立てるよう、役員一同努力してまいります。

■ st-kai@hoku-iryu-u.ac.jp

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	石原 敦(3)
道南支部	吉田 元(12)
釧根支部	羽田野 貴志(11)
オホーツク支部	森谷 俊恵(13)
日胆支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部	杉本 雅規(3) ※支部長代理
神奈川県支部	萩原 秀男(5)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 018-887-3988
岩手県支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	松井 章(2)	松井歯科医院 ☎028-656-4618
群馬県支部	篠崎 広治(1)	しのざき歯科医院 ☎0276-48-0118
埼玉県支部	青木 聡(7)	あおき歯科医院 ☎049-256-2220
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛭名 勝之(5)	エピナ歯科医院 ☎03-3200-4818

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一郎(2)	粟津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10) ※支部長代理	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
大阪府支部	西 一幸(1)	西歯科医院 ☎06-6793-7500
広島県支部	神原 滋(6)	明王台クリニック ☎084-952-2281
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

■看護福祉学部

☎0133-23-1211
○看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
○臨床福祉学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

■心理科学部・リハビリテーション科学部

☎0133-23-1211
(学務部・心理科学課・リハビリテーション科学課)
○臨床心理学 ○作業療法学科
○理学療法学科 ○言語聴覚療法学科



歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

(創立年:1991年 正会員数:約1,267名、準会員:27名)

はじめに、新型コロナウイルスにより罹患された皆様と関係者の方々へ心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県や国境をまたぐ移動が制限され、帰省できない。結婚式や人生のイベントを中止、延期あるいは、自粛しなければならぬ。学生さんたちは、アルバイトができず生活が苦しい。など、これまでとは違った経験を強いられている今、本同窓会員は医療職の一員として日々、努力を惜みもなくそれぞれの職場で活躍しております。

2020年度同窓会の活動は、毎年行われていた、セミナーや会員が世代を超えて集まり意見交換を行う懇親会の開催を断念しました。唯一同窓会員の近況を知ることのできる同窓会誌「いずみ」を発行できたことは、会誌担当者の努力によるものであり、「何事にも

諦めず考えて努力し、問題を解決する」という本校の校風そのものだと思います。

同窓会の活動は、感染拡大防止を重視して自粛することが多くありましたが、1,200名を超えた同窓生からの志として些少ではありますが、本学の学生たちに少しでも役立てていただけるように寄附をさせていただきます。(これは、歯学部同窓会 委員長会のリーダーシップによるものです)

今後も「何事にも諦めず…」の「精神」で本校や他学部同窓会とも協力して、在校生や同窓生にとっても意味のある会となるように努力してまいります。

■ <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~katakuri/>
■ okahashi@hoku-iryu-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部
地域連携課

☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryu-u.ac.jp